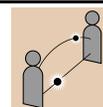


# 言葉とコミュニケーション



京都大学大学院医学研究科 山根 寛  
 Hiroshi Yamane ; OTR, PhD  
 Human Health Science Graduate School of Medicine Kyoto University

## コミュニケーションの目的と機能



動物はなぜコミュニケーションするのか？  
 人間はなぜコミュニケーションするのか？ 動物と同じ？

動物に共通

共通の危機の伝達  
 自分や群れのテリトリーの防衛  
 協同作業に向けての場所や方向の伝達  
 求愛から交尾のプロセスの効率・効果  
 群れ（家族を含む）のつながりの維持  
 同種集団の社会的秩序を保つ順位確認



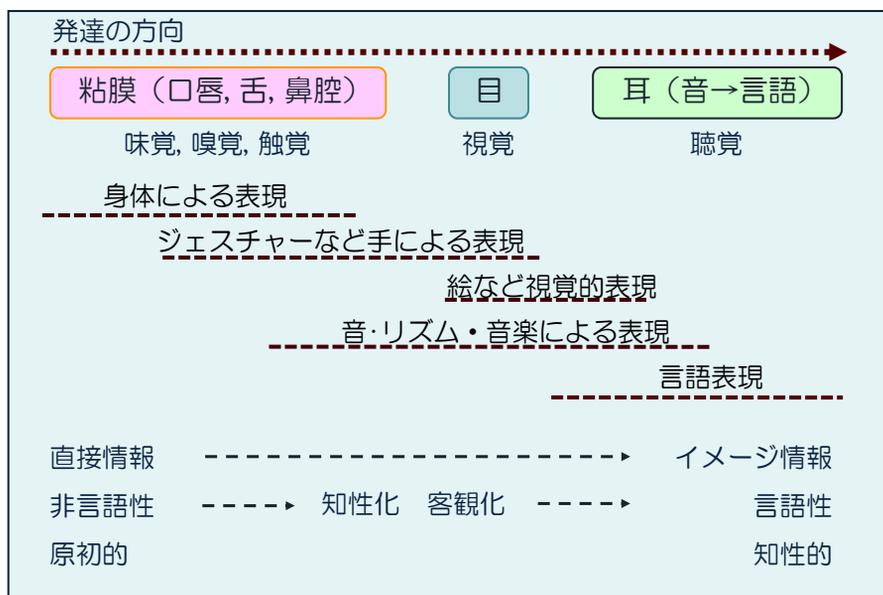
ヒトに特有

相手と交渉をする  
 自己提示  
 思考の整理  
 （自分とのコミュニケーション）  
 文化の継承

## コミュニケーションの媒介

言語体系	音声言語（話しことば）	直接的会話	直接会ってする対面会話
		間接的会話	電話などの機器を介した会話
	文字言語（書きことば）	筆談、文字ボード、電子メール、指文字など	
	記号（表象されたことば）	モールス符号、点字、手話、シンボル、手旗など	
非言語体系	パラ言語（ことばの表情）	大小、強弱、高低、速さと変化 間合い、テンポと変化、リズム、抑揚 語気(語調) ことばの量 ことばの連続性(流ちょう性) ことばの肌理	
	身体表象（からだの表情）	身体的特徴 身体的概観 身体加工 顔 目 動作・行動 接触行為 自律神経系	体型、体格、容姿、頭髪、体臭、肌の色、匂いなど 年齢、性別、体型、背丈、皮膚、髪など 化粧、髪型、整形、タトゥーなど 顔立ち、表情 視線、アイコンタクト、まなざし 姿勢、身振り手振り、態度、動作、行動 なでる、打つ、抱く、触れる、握手など 瞳孔、心拍、血圧、消化系、排尿、呼吸、発汗などの変化
	物（拡張した自我）	身につける物 創作物	服装、装身具、匂い 所有物、使用物（道具、材料、物品など） 絵画、音楽、手工芸品など

## 情報入手器官の発達とコミュニケーション

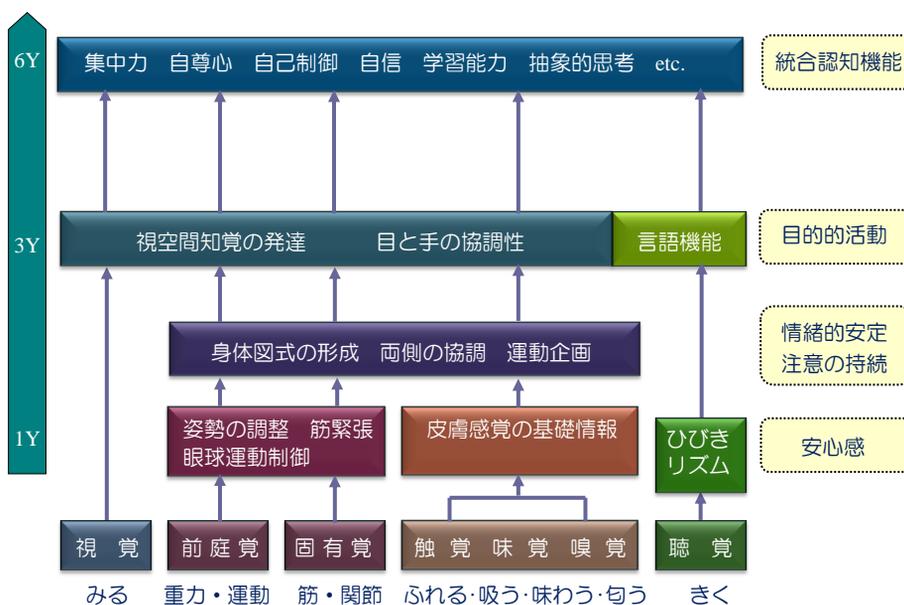


## 情報入手器官の発達とコミュニケーション

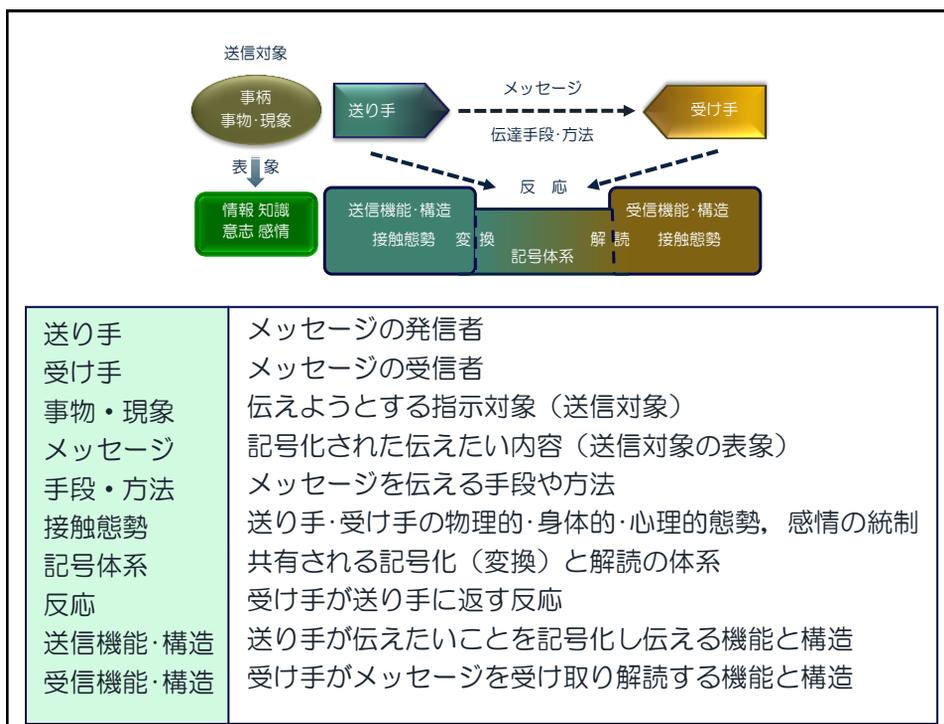
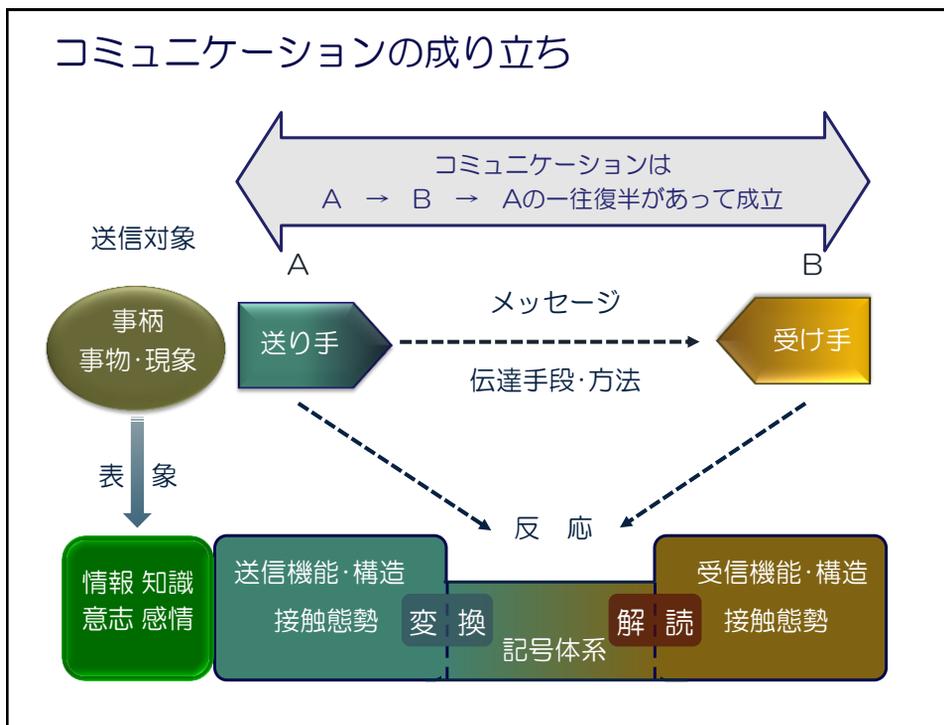
この人たちとはどのような手段でコミュニケーションできるでしょう？

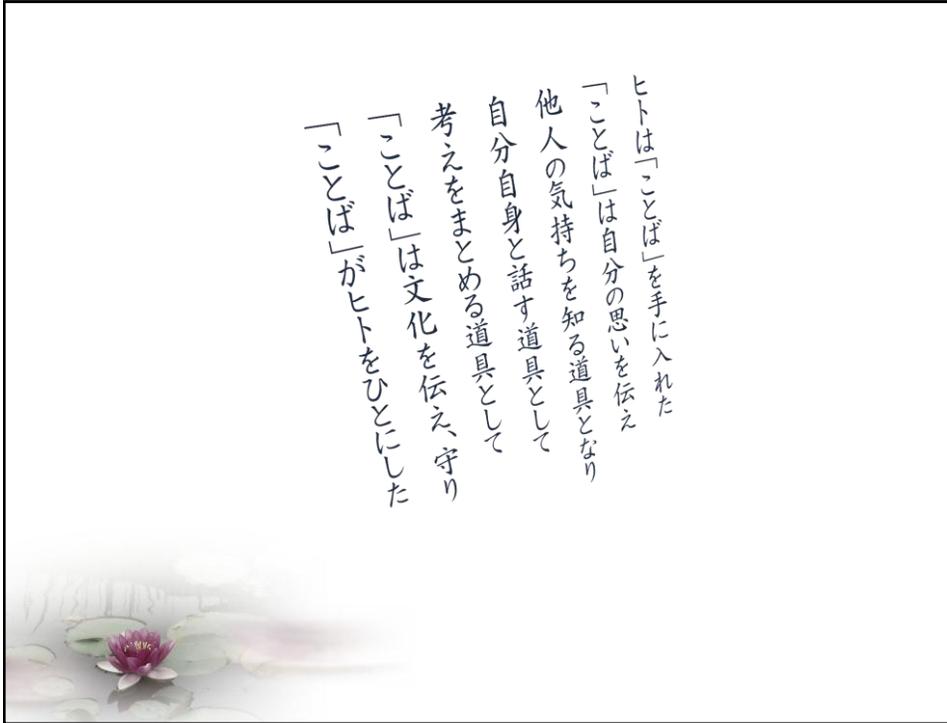
- 1歳までの赤ちゃん
- 知的障害がある子どもたち
- 重度の脳性麻痺の子どもたち（知的障害はない）
- 認知症の中等度以上の人たち
- 作為体験がある統合失調症

## 統合認知機能の発達とコミュニケーション (Ayes,1979改変)



## コミュニケーションの成り立ち





## 言語コミュニケーションの成りたち



食べる

梅干しやレモンを食べて、すっぱい  
という体験（味覚による直接情報）  
身体感覚情報として蓄積



見る, 食べる

視覚情報と味覚体験（身体感覚情報）  
の関連づけ



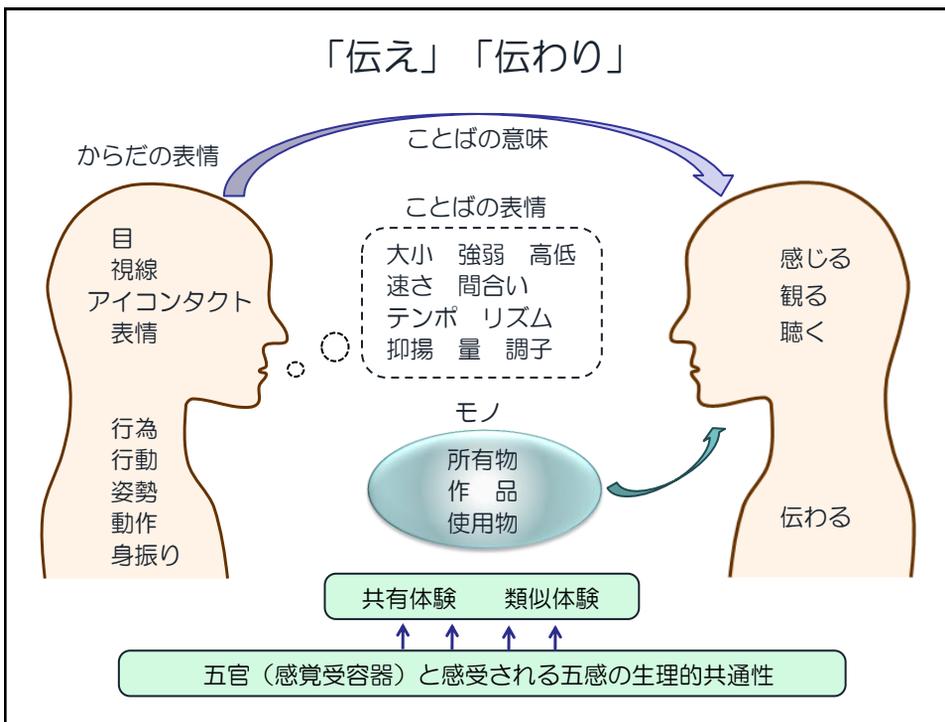
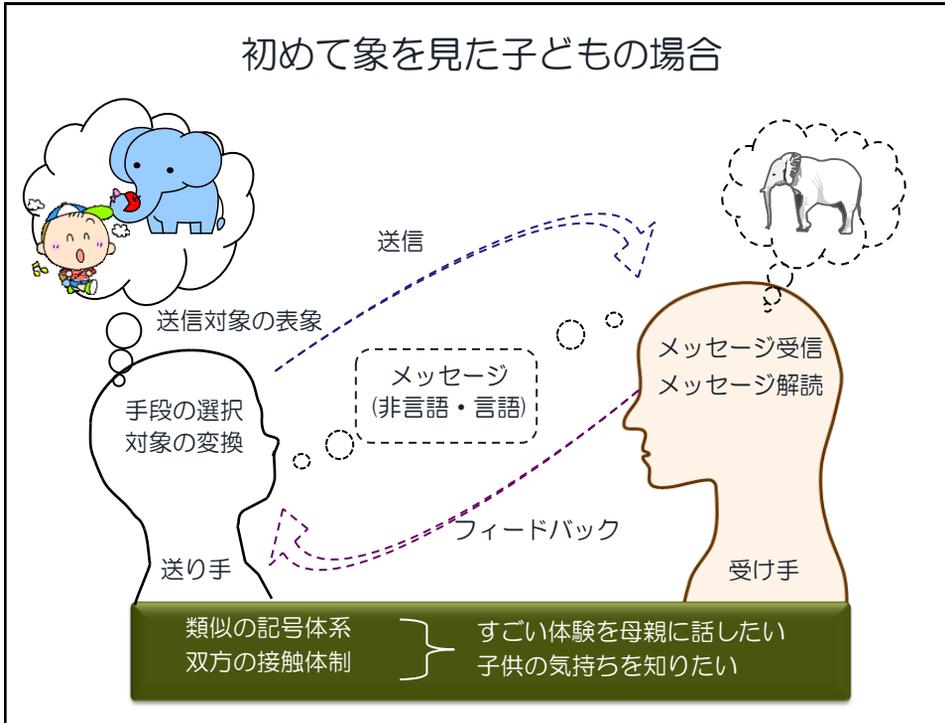
見る

視覚情報でイメージとして味覚体験  
（身体感覚情報）が再現



聞く

言語情報でイメージとして味覚情報  
（身体感覚情報）が再現



## コミュニケーションの基本

### こころの理論 Theory of Mind

対象の考えや感情などこころの動きを推測したり、  
対象が自分とは異なる思いを持っているということ  
を理解したりする機能

共同注視：9か月  
表象：1歳頃  
振り：1歳半頃  
騙し：4歳まで



### ピーアールのページ

ZIZI-YAMAの知の森へどうぞ  
ZIZI-YAMAで検索  
ZIZI-YAMA WORLD2をクリック

